月刊

２０１５年（平成２７年）
８月　Vol.１８８
大阪府議会議員　活動報告書

１９９７年６月創刊
１９９７年６月～９月：週刊
１９９７年１０月～：月刊
発行部数累計：２，６５５，７８０部

土井達也 ただいま活動中！

はっきり発言！　しっかり報告！

大阪維新の会　会員長員長
大阪府議会議　大阪府議会
総務・委員長員
議会運営委
大阪維新の会・幹事

土井達也Webサイト
http://www.tdoi.net/
116,153人

執筆・印刷：土井達也事務所
住所：〒599-0201 大阪府阪南市尾崎町93-6尾崎駅山手ビル2F
TEL：072-471-7357
FAX：072-471-8004
E-Mail:t.doi@nifty.com

田尻町・泉南市・阪南市・岬町　版

８月５日（水）から
阪南市内におきまして、
府政報告「維新タイムズ」を
全戸配布しています！

上は、６月７日（日）に新聞折込をした報告書

過去の報告書は、
土井達也ホームページに掲載しています。
http://www.tdoi.net/

大阪都構想否決後、大阪都構想の対案であった大阪会議（大阪戦略調整会議）まったく機能せず

平成27年5月17日
大阪都構想・住民投票
反対多数で否決

大阪府議会５月定例会　都構想対案　大阪会議可決

産経新聞
平成27年6月10日

都構想対案 維新、自民が賛成

「大阪会議」スピード可決へ

維新「転賛成」自民は困惑

自民党が、「大阪都構想」の対案として提案した大阪府、大阪、堺両市の首長と議員が広域課題を協議する「大阪戦略調整会議」の設置議案が、10日の大阪市議会で成立見込みとなった。都構想推進で議案に反対だった大阪維新の会が、一転して賛成したための。「スピード可決」だが、会議の体制は固まっておらず、自民は維新から議案の審議で、自民は維新から会議の設置目的などを受け、自民が府と両市の5月議会に再提案した。自民は維新の反対を想定、5月議会では維新の反対で廃案となっていたが、5月の住民投票で「やる気がない」というレッテルを貼られてしまう（自民府議）からだ。

自民の大阪市議は「会議体が設置されれば、大阪にとって一歩前進だ」と胸を張るが、会議での協議事項などを巡っても、自民は「無駄な二重行政があるかどうかも含めて話し合う」という立場。二重行政の無駄を掲げ、都構想実現を主張していた維新とは隔たりがある。

会議の実力を支える事務局機能を、誰が担うかの見通しも立っておらず、具体的な設置時期も不透明なままだ。

自民党が「大阪都構想」の対案として提案した大阪府、大阪、堺両市の首長と議員が広域課題を協議する「大阪戦略調整会議」の設置議案が、10日の大阪市議会で成立見込みとなった。都構想推進で議案に反対だった大阪維新の会が、一転して賛成したための。「スピード可決」だが、会議の体制は固まっておらず、自民は維新から議案の審議で、自民は維新から会議の設置目的などを受け、自民が府と両市の5月議会に再提案した。自民は維新の反対を想定、5月議会では維新の反対で廃案となっていたが、5月の住民投票で「やる気がない」というレッテルを貼られてしまう（自民府議）からだ。

自民の大阪市議は「会議体が設置されれば、大阪にとって一歩前進だ」と胸を張るが、会議での協議事項などを巡っても、自民は「無駄な二重行政があるかどうかも含めて話し合う」という立場。二重行政の無駄を掲げ、都構想実現を主張していた維新とは隔たりがある。

会議の実力を支える事務局機能を、誰が担うかの見通しも立っておらず、具体的な設置時期も不透明なままだ。

⇒
朝日新聞
平成２７年
６月１２日

大阪会議 効力は未知数

ダブル選にらみすれ違う思惑

府議会でも可決

大阪府・市の連携が問われる主な課題

橋下徹氏らが主張した大阪都構想実現の場合の案

市側は市主導の開発と府の財政負担を期待。府側は負担の負担などを警戒

つめきた開発　市に権限を集め開発推進

地下鉄民営化　地下鉄事業は市から府に移管

大学統合　大学事業は市から府に移管

病院統合　病院事業は市から府に移管

IR　府に権限を集め誘致活動

第１回大阪会議　採決しても何も決まらず

大阪府市と堺市から関係者が集まって行われた大阪戦略調整会議（24日午前、大

会長権限で平行線

大阪会議はや空転

「大阪都構想」に反対を唱えた自民党が協議を主導した「大阪戦略調整会議（大阪会議）」の初会合が24日、大阪府内で開かれた。大阪府と大阪、堺両政令市の首長、議員ら。

初会合は午前9時ごろスタート。3議会の最大会派である維新の今井豊議長を会長、自民の木下信行大阪府議を副会長に選んだ。

毎日

維・自 設置目的で対立

大阪会議初会合　紛糾、議決できず

大阪府と大阪・堺両政令市の二重行政解消などを協議する「大阪戦略調整会議（大阪会議）」の初会合が24日、大阪市内で開かれた。住民投票で否決された「大阪都構想」の対案として設置されたが、議題設定などを巡り大阪維新の会、自民の見解が対立。規約案の内容などを巡り議論が紛糾し、決まらないまま終了した。8月上旬にも次回会合を開く。

松井一郎府知事や橋下徹大阪市長、竹山修糟谷氏らは「会議の目的を『部構想の対案』と規約に明記すべきだ」などと注文をつけ、自民側は「明記の必要はない」と応じた。自民の花谷充愉府議は「（維新は）会議をぐちゃぐちゃにするために会議の規約や運営方法も話し合われたが、議長を除く議員24人が出席。会長に府議の今井豊議長（維新）、副会長に大阪市議の木下信行副議長（自民）を選んだ。

↑
読賣新聞　夕刊
平成27年24日
←
毎日新聞　夕刊
平成27年24日

大阪都構想否決後、大阪会議（大阪戦略調整会議）まったく機能せず。

大阪都構想の対案であった「大阪会議」が、７月２４日に第１回の会議を開催。以前に、この報告書で問題を列挙した通り、まったく機能せず。新聞記事では、対立、紛糾、空転などの文字が並びましたが、**そもそも大問題なのは、「採決をしたのに、何も決まらなかった」ということ。**

第２回大阪会議は、８月１３日（木）午前１０時からだったのですが、**「流会」に。**これは、大阪都構想の対案で、自ら会議を設置した会派が欠席したため。大阪都構想の対案として住民投票を勝利し、自ら大阪戦略調整会議（大阪会議）の議案を議会に上程し可決。その自ら作った会議に出てこず、会議を開かないで流れてしまうとは、いったいどういうことなのか？もう、ここまでくれば、さっぱり分かりません。府民に対して「やってますよ」というフリだけして騙しておけばいいという考え方が、そもそも間違っていたのです。